

2023年度 城西大学大学院経済学研究科 経済学 入試問題（第一次）

[試験時間：100分]

**出願時に志望した 第一・第二志望科目について答えなさい。**

1. 開発経済学

一国内に難民が流入することで、人口が一気に増加したとすると、技術進歩のないソローモデルでは、一人当たりGDPは短期的および長期的にどのように変化するか論述しなさい。

2. 経済政策学

「発電のために、化石燃料の輸入を減らし、地熱発電を増やす。そのために、費用の高い地熱発電で発電された電力を、電力会社は一定の高い値段で買い取る義務を負う」。この政策の日本経済への影響を「乗数効果」という言葉を必ず使い論じてください。

3. 日本経済史

次の設問のなかから一つを選択し 1,000 字程度で回答しなさい。設問に用意されている用語を必ず使うこと。

① 後に財閥と呼ばれた江戸時代の商家にとって、幕末維新时期は危機の連続であった。どのような危機があり、分かれ道はどのあたりにあったのか説明しなさい。

用語： 討幕派 国家財政の委託（会計事務局為替方） 三井

② 第一次世界大戦期には先行した財閥を追い抜こうとして、後に二流財閥と呼ばれた企業が躍進した。躍進した企業の様子とその条件を説明しなさい。

用語： 貿易 鈴木商店 金子 古河商事

③ 昭和恐慌時に財閥が行ったドル買いと、財閥批判について説明しなさい。

用語： 三井 金本位制 経済政策の失敗

4. アジア経済論

中所得国の罫とは何かを解説し、無制限の労働供給が限界を迎えた後の経済成長の方向性を具体的な国を例示して解説しなさい。